



大阪対がん協会報

2024年12月号

公益財団法人 大阪対がん協会

〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

大阪国際がんセンター 患者交流棟 2F

TEL 06-7777-3565 FAX 06-6585-0353

E-mail: office@osakacancer.jp HP: http://www.osakacancer.jp

—— 第65回 ——

がん研究助成奨励金

2025年2月選考委員会／3月贈呈式

15件に各30万円贈呈

大阪対がん協会は、公益目的事業の一つであるがん研究助成奨励金事業を今年度も継続して実施いたします。がん研究助成奨励金は、がんの予防と治療等に役立つ研究や取り組みに従事している若手の個人やグループを助成・奨励するもので、今回で65回目になります。2024年11月8日から申請書の応募を受け付け、選考委員による採点后、2月中旬の選考委員会で贈呈者を決定し、3月に贈呈式を開催いたします。

大阪府下の大学医学部・歯学部・薬学部・看護学部、研究機関、がん診療拠点病院など約130カ所に応募を呼びかけ、募集要項などの詳細はホームページにも公表しています。「基礎」「臨床」「疫学（社会医学）」「看護等（緩和ケア・リハビリ等）」の4分野で合計15件を上限として表彰し、奨励金30万円を贈呈いたします。

選考委員は、専門分野別に「基礎」5人、「臨床および疫学（社会医学）」5人、「看護等（緩和ケア・リハビリ等）」3人の13人の方に委嘱しました。選考委員長は松浦成昭会長（大阪国際がんセンター総長）が務めます。

……………「2024年度選考委員」（敬称略）……………

【基礎】

金井好克（大阪大学ヒューマン・メタボース疾患研究拠点特任教授）
高橋 豊（大阪大学大学院医学系研究科教授）
谷口直之（大阪国際がんセンター研究所所長）
蔦 幸治（関西医科大学医学部病理学講座教授）
西尾和人（近畿大学医学部長）

【臨床および疫学（社会医学）】

大森 健（大阪警察病院消化器外科主任部長）
澁谷景子（大阪公立大学大学院医学研究科教授）

関本貢嗣（箕面市立病院総長）

中川和彦（近畿大学病院がんセンター長）

宮代 勲（大阪国際がんセンターがん対策センター所長）

【看護等（緩和ケア・リハビリ等）】

池山晴人（大阪国際がんセンターがん相談支援センター長）
作田裕美（大阪公立大学大学院看護学研究科教授）
鈴木久美（大阪医科大学大学院看護学研究科長）

令和6年度 啓発イベント

大阪対がん協会では、公益目的事業として、各種啓発イベントを実施しています。がんの予防、がん検診の啓発など、がんに関する講演会を開催しています。

従来は、会場を使用した講演会を開催していましたが、令和6年度も新型コロナウイルス感染防止のため、一部を除いて講師の講演を録画し、インターネット(ホームページ)上で録画映像を公開しています。

令和6年度に開催した主催(共催)のイベントは、以下のとおりです。

講座名等	動画公開期間	テーマ・講演内容
第102回成人病公開講座	2024年3月7日～ 2024年6月22日 ※詳細は大阪成人病予防協会のホームページをご覧ください。	「健康講話 健康に関する最新のトピック」 1. がんと高血圧の新しい関係：Onco - Hypertension 大阪国際がんセンター 成人病ドック科 主任部長 向井 幹夫 2. 全身 MRI - 最新の情報公開 - 大阪国際がんセンター 放射線診断科 主任部長 中西 克之 3. 動脈硬化は冰山と同じ形をしている。～そのリスクと予防について～ 社会医療法人 協和会 加納総合病院 部長 西川 永洋 4. 健康長寿と統合医療～ヒトの直立二足歩行の光と影 大阪がん循環器病予防センター 所長 伊藤 壽記
がん予防キャンペーン 大阪2024	2024年10月10日 会場：OMMビル1階 グラン ※詳細は大阪がん循環器病予防センターのホームページをご覧ください。 ※本件は、動画公開はしていません。	「知っておきたい。胃がん検診と最近の治療法」 1. 胃がん検診の実態について 大阪がん循環器病予防センター 所長 伊藤 壽記 2. 早期胃がんの内視鏡治療 大阪国際がんセンター 消化管内科 副部長 金坂 卓 3. 胃・食道がんに対する最新の外科治療 ロボット手術 大阪けいさつ病院 消化器外科 主任部長 上部消化器外科 部長 ロボット手術支援センター長 大森 健
第103回成人病公開講座	2024年6月20日～ 2024年9月24日 ※詳細は大阪成人病予防協会のホームページをご覧ください。	「正しく知ろう！ がんゲノム医療の最前線」 1. がんゲノム医療 その現状と課題 大阪国際がんセンター 遺伝子診療部・がんゲノム診療科 部長 杉本 直俊 2. がんゲノム医療と遺伝性腫瘍 大阪国際がんセンター 遺伝子診療部・遺伝性腫瘍診療科 遺伝カウンセラー 井上田鶴子 3. がんゲノム医療コーディネーターとは？ その役割と取り組み 大阪国際がんセンター 副看護部長兼がん看護専門看護師 相談支援センター/リソースナースセンター 副センター長 北坂美津子
第104回成人病公開講座	2024年10月3日～ 2024年12月24日 ※詳細は大阪成人病予防協会のホームページをご覧ください。	「食道がん・胃がん治療の最前線」 1. 早期胃がんの内視鏡診療～どう診る？ どう治す？～ 大阪国際がんセンター 消化管内科 医長 加藤 穰 2. 食道がん治療における新しい取り組み～ロボット手術から免疫療法まで～ 大阪国際がんセンター 消化器外科・食道外科 副部長 金村 剛志 3. 胃がん外科治療における最新のトピックス～より安全に、より効果的に～ 大阪国際がんセンター 消化器外科 副部長 胃外科科長 胃がんセンター センター長 山本 和義

がん医療 展望 vol.20

今のがん医療を患者はどう評価しているか

我が国ではがん対策基本法に基づき、がん医療の向上をめざした様々な対策が進められてきました。最終的にその成果を評価するのは患者なので、厚労省では2015年からがん診療連携拠点病院を通して、多数の患者さんに評価してもらい調査を行ってきました。今回、2023年に調査されたデータの速報が発表されたので報告します。

調査対象は2021年度院内がん登録を実施している382のがん拠点病院から無作為抽出された合計13188人の患者です。大阪府からは当センターを初め20のがん拠点病院が選ばれました。対象者の平均年齢68.9歳(20-102歳)、女男比は45:55、がん種では大腸、乳、肺、胃、前立腺がんの順に多く、これらは各10-15%を占めました。ステージはⅠ期が46%と多く、Ⅱ-Ⅳ期は15-20%前後で大体同じです。病院を通して患者(家族)に79問のアンケートに答えてもらい、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」から選んでもらい、最初の2つを肯定的な評価としています。

患者さんの評価が80%以上と高かった項目は13あり、前回(4項目)よりも大幅に増加しました(図1)。治療スケジュールの見通しが立った、治療の情報を入手できた、スタッフから生活についての情報を得られたなど、治療前の様々な説明が評価されています。また、医療スタッフは患者の言うことを傾聴して理解してくれた、担当医の知識・経験は十分である、担当医は相談しやすいなど、医療スタッフからのコミュニケーションにもよい評価が得られています。つらい症状にすぐ対応してくれたという緩和ケア、図1にはありませんが、がん相談支援センターが有用も72.4%と高いです(がん相談支援センターの認知度は53.2%)。肯定的な回答が最も多かったのはお金のために治療断念がなかったもので98.2%ありまし、がんで退職しなかった人は80%と前回よりも改善してきています。

評価の低かった図2を見るとまず、ピアサポート、ゲノム医療、セカンドオピニオン、などの説明・広報が不十分で、がん相談支援センターの利用度も21.1%と低いです。また、外見の悩み、家族の悩み、心のつらさの相談に対する評価が低く、苦痛への支援が十分という患者も少ないようです。

表にはありませんが、就労を続けられた人は26.5%と少なく、退職した人は18.5%で改善していますが、休職・休業が半分です。退職時期については、診断直後31.8%と最多で、診断確定前8.7%、診断～初回治療前17.3%と合わせると58%が初回治療の前の早い段階で退職しています。一度退職した人が復職した割合は16.8%しかありませんから、何とか早い段階で退職を食い止めることが重要だと思います。しかし、表2のように就労継続についての説明は44%でまだまだ不十分で、改善が必要です。

患者支援も含めてがん医療全体についての評価点は平均82点とかなり高得点で、100点を付けて頂いた患者さんも多くありました。がん拠点病院ががん医療だけでなく、患者支援でも頑張っていることはかなり評価されていますが、まだ不十分な所もあるようで、さらなる努力が求められていると思います。

(会長 松浦 成昭)

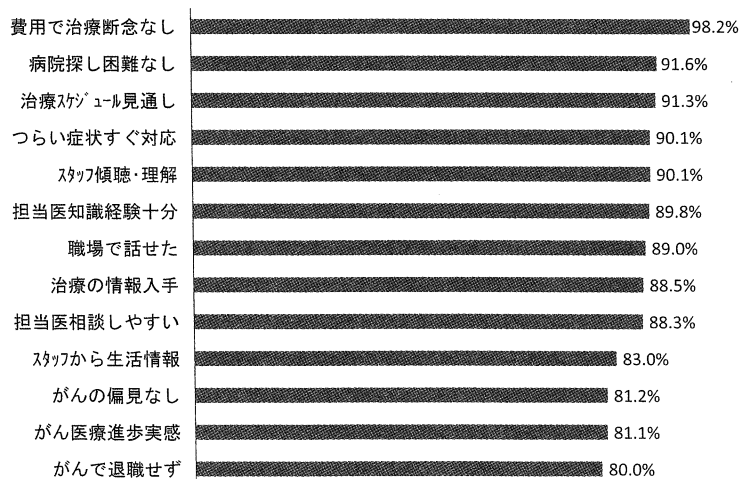


図1 患者の評価が高かったもの

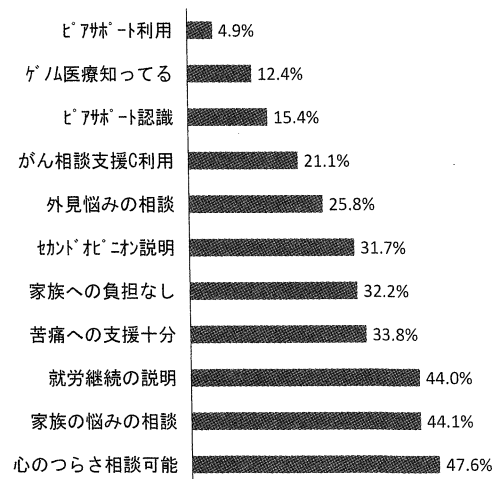


図2 患者の評価が低かったもの

来春のがん検診 4月・5月に実施

2025年2月3日(月)から受け付け

- ☐ 検診機関 大阪がん循環器病予防センター
〒536-8588 大阪市城東区森之宮1丁目6-107
- ☐ 検診期間 2025年4月1日(火) から 5月30日(金) まで
- ☐ 申込期間 2025年2月3日(月) から 3月28日(金) まで

検診項目

胃

X線デジタル撮影 16 方向 (10,010 円)

検査を受ける方は、前夜の夕食を午後10時までにおとりください。

お水・お茶は就寝前までかまいません。

検査当日は、午前7時までにコップ1杯程度の水(約200ml)を飲んでください。

また、朝から禁煙してください。

肺

X線デジタル撮影 (3,740 円) 喀痰細胞診 (3,960 円)

胸部ヘリカルCT (13,200 円)

※胸部ヘルカリCT: 従来の胸部X線撮影では発見されにくい小さな病変を発見できます。

乳 腺

視触診+マンモグラフィー (6,710 円)

※マンモグラフィー: 内外斜位方向撮影や頭尾方向撮影を用いるので、視触診ではわからない早期がんの発見に役立ちます。

子 宮

子宮がんを主とする細胞診

頸部 (6,050 円) 頸部+体部 (10,010 円)

大 腸

免疫学的便潜血検査 (1,540 円)

申し込み受付後、採便キットを郵送させていただきますので、採便後、大阪がん循環器病予防センターまでお持ちください。

※前立腺がんの検査もできます(3,520 円) 同時に申し込んでください。

検診のお申し込みは 電話で

2月3日(月)からの受付を厳守してください

大阪がん循環器病予防センター(予約センター)

電話 **06-6969-6712**

受付曜日: 月曜日~金曜日(祝日を除く)

受付時間: 10時~12時 13時~16時

※「大阪対がん協会のがん検診希望」といってお申し込みください。

受診票は後日、ご自宅に届きます。